

高圧ガス事故事例情報シート

<b>整理番号</b> H13-12	<b>事故名称</b> 溶断作業中のアセチレンガス火災			
<b>発生日</b> 2001年12月3日	<b>事象</b> 火災		<b>原因大分類</b> 設備	<b>KHK Code</b> 2001-0169
<b>発生場所</b> 川崎市	<b>ガスの種類</b> アセチレン、酸素		<b>原因中分類</b> 点検不良	
<b>事故区分</b> 消費先	<b>死亡</b> 0	<b>重傷</b> 0	<b>軽傷</b> 0	<b>原因補足</b> ホースの傷
<b>事故状況</b> 鉄工所において、アセチレンバーナーを用いた鋼材の溶断作業中に、10m程離れた場所で突然ホースが破裂して、窓ガラスのひび割れやガスホース及び電動クレーンのホイストコードが焼損した。直ちに消防署に連絡すると同時に消火器で消火し、消火後に取出口元バルブを閉じた。				
<b>事故原因</b> ガスホースの劣化など何らかの原因でガスが漏れて、着火したものと考えられる。配管取出口から吹管までのホースが破れており、配管取出口に設置してある乾式安全器内部にススが無く、作業にも逆火の認識がないことなどから、逆火によるものでなく、アセチレンホースからの漏えい着火事故と考えられる。				
<b>措置・対策</b> 自主点検の強化徹底。				
<b>教訓</b> 1. 始業点検の実施 ホース、継手、器具等の点検を行い、チェックリストに記録する。 点検項目は以下のとおりとする。 (1)外観検査: 酸素用ホースは青、アセチレン用ホースは赤が一般的、外観検査でゴムホースに傷、割れ、折れ、焼けがないことを確認する。 (2)気密試験: 使用する前に、ホースバンド・ホース継手を固定し、石けん水等で、溶断器、調整器の接続部、ホースの連結部、ホースから発泡、漏えいのないことを確認する。 2. 不良品の交換 (1)点検の結果、異常があった場合は交換する。 (2)ゴムホースは古くなるにつれ硬化して割れを生じたり、ガス漏れを引き起こす危険がある。 (3)メーカー推奨の使用期限に従う。				
<b>【参考図書】</b> 「可燃性ガス(アセチレンガス等)・酸素の取扱上の注意」 <span style="float: right;">全国高圧ガス溶材組合連合会</span>				